



本年度最後の参観日、一年分成長できたかな？



2月22日は、今年度最後の参観日でした。今年一年、子どもたちは、毎日の授業や、様々な行事等を通して、多くのことを学んできました。保護者の皆様、授業を参観して、その成長の跡は感じられましたでしょうか？

1年生は、この一年で色々なことができるようになった姿と、支えてくれた家族への感謝の詰まった発表でした。2年生教室では、友達からの「良いところメッセージ」が沢山貼り付けられた等身大の自画像が迎えてくれました。3年生は、福祉に関わる学習の中からテーマを決めて、4年生は、この一年で自分が一番頑張ったものをテーマに発表しました。5年生では、みんなで心を合わせて挑む大縄飛びで大いに盛り上がりました。6年生は、私の目指すプロフェッショナルをテーマに、目指す将来の姿についての発表でした。

日々の小さな挑戦を通して、できることを増やしながらか、友達の良さに触れたり、自分が心引かれるものを見つけて頑張ったり、心を合わせてエネルギーを爆発させたりしながら「ありがたい自分」を目指していく。そんな子どもたちの一年間を締めくくる素敵な参観日でした。



思い出に残る校内ウォークラリー！（お別れ遠足）



3月1日は、お別れ遠足でした。今年のお別れ遠足は、当日、「雨天」というわけではなかったのですが、校内遠足を実施しました。「学級でのふれあいの時間や学年間での交流の時間をできるだけ多く確保したい」というのが、あえて校内遠足を計画した理由です。送り出す側のリーダーである5年生が、一週間ほど前から、これまでの「出し物」中心のプログラムではなく、みんなでふ

れあったり、交流したりできるよう工夫を凝らしました。

当日は、学年縦割りのグループで、体育館や教室を巡りながら、ピンポン球運びやボウリングで楽しく交流しました。普段は、学級（学年）毎に過ごすことの多い子どもたちですが、運動会以来、全ての学年が一体となって盛り上がりました。みんなが楽しめるよう、準備や当日の運営を頑張った5年生に頼もしさを感じました。



卒業式予行、そして、新たな一歩に向けて！



3月14日は、卒業式予行でした。6年生にとっては、この6年間の総仕上げとなる卒業式まで、残り10日を切りました。子どもたちは、皆、真剣に練習に取り組み、きっと、当日も、心と心が感動でつながる素敵な卒業式にしてくれるものと思います。この1年間、桜ヶ丘小学校をよく引っ張ってくれた6年生。中学校進学に向けて、悔いの無いよう、最後まで全力で走りきりましょう。また、他の学年の皆さんも、それぞれ、次の学年に向けて、心と体の準備をしましょう。保護者の皆様、地域の皆様、来年度も子どもたちの応援をよろしくお願ひいたします。

校長先生の挑戦 12：心と心が感動でつながる素敵なものみつけた？

3月4日、今年度最後の全校集会では「心と心が感動でつながる素敵なものみつけた？」というテーマで話をしました。実は、これまで11回の「校長先生の挑戦」で、私が、子どもたちに話してきた内容は、全て、この「心と心が感動でつながる素敵なもの」という言葉に集約されます。

子どもたちは、日々の挑戦を通して「できること」を一つずつ増やしていきます。しかし「できること」を増やすこと以上に大切なものが、その「できること」を「どう使うか」ということです。それが抜けると、知識は知識、技能は技能としてうすたかく積み上がっていくだけで、子どもたちのこれからを支える生きた力とはなりません。そして、その「どう使うか」を決めるのは、その子どもの「心（人間性）」だと思えます。より原初的にとらえれば「感性」と言っても良いかも知れません。子どもが得た知識や技能は、「これは好き（嫌い）」、「これは良い（良くない）」という風に、その子どもがもつ感性というフィルターによって取捨選択され、心の中へと落とし込まれていきます。そして、それは、感性が大きく揺さぶられるほど強く心に刻みつけられます。例えば、団長さんの必死の頑張りで全校児童の心と心が感動でつながった運動会。団長さんが、そこで学んだことは、この先もずっと心に残り、将来を支える糧となることでしょうか。そして、それは、共にその感動を味わった団員一人一人の心にも、何らかの影響を及ぼしていく。そんな日々の大小様々な感動の積み重ねが、生きて働く力を育てるのではないのでしょうか。「心と心が感動でつながる素敵なもの」という言葉には、そんな素敵な感動を、その場（学級・学校・社会）にいる者皆で共有していきたいという思いが込められています。



もちろん、感性が揺さぶられれば、他と共有しようとすまいとそれは心に残ります。例えば、読書による感動は、共有せずとも、本人の心の中のみでも十分に完結します。しかし、それを他者と共有すれば、自分とは異なる他者の感性に気づきそれに共鳴し、時に反発し、そして、互いに擦り合わせることを学ぶことができます。自分とは異なる、しかし、自分と同等に尊い他者の感性と交わりながら、自らの感性を磨いていく。子どもたちが、日々、学校という場に集うことの意味はそこにあると思えます。

令和6年度から「ウェルビーイング」の向上を基盤とする教育が、国をあげて本格始動します。この「ウェルビーイング」という言葉自体は、目新しいものではありませんが、今回は、身体的、精神的、社会的に良い状態を示すこの「ウェルビーイング」という言葉を、従来の「努力して獲得する幸福」という視点に加えて「協調して育む幸福」という新たな視点で捉え直している点が、肝となっています。子どもたちが、日々の学校生活の中で出会う、「心と心が感動でつながる素敵なもの」が、この「みんなで（協調して）育む幸福」を希求する心を育てる肥やしとなるものと信じています。

うんどうかい かんぱ ぜん
運動会で頑張るのは何のため？
かんぱ かんどう
頑張れば、感動することができるから
かんどう ぜん
じゃあ、感動するのは何のため？
かんどう のこ
感動したことは、しっかりと心に残るから
このこ のこ ぜん
じゃあ、心に残すのは何のため？
このこ のこ いま させえ みらい ひら
心に残ったことは、今を支え、未来を開くから

ウェルビーイング

からだも こころも みんなのなかでも
みんなではくくむ “しあわせ”

4月の行事予定

4月 5日	始業式・新任式	4月21日	参観日・PTA 総会
4月12日	入学式	4月22日	振替休業日
4月18日	全国学力・学習状況調査		

(※ 4月行事は、主なもののみ)

